

| No. | いただいたご意見   | 大仙市議会の回答   |
|-----|--|--|
| 1   | 県内の各自治体が人口減少する中で、大潟村だけが増える要素があって、他はなぜ減っていくのか、その違いはどこにあるか。それに対し、どの様に取り組んでいくか。対策を講じることで、若い人の定住につながっていくのではないかな。                       | 明確な理由は定かでないが、大潟村の場合は、大規模農家が多く、一人当たりの所得が高いこともあると思う。   |
| 2   | 大潟村だけが人口増加していくのは、所得水準が高いことだけが理由でないような気がする。大潟村が人口増加する理由をしっかりと調査することが今後の施策に役立つと思われるので調査すべきと思う。                                       | 市当局へ文書で伝えました。  |
| 3   | 人口減少が進むと国保の負担が大きくなり大変であるが、その対応を考えているのか。また、医療費の削減には予防が大切と思う。予防医療に力を入れていくべきと思う。  | 人口減少が進むと国保は維持が大変である。今、国では国保を県単位での保険制度にしたいということで動いている。この方向に進むのでないか。予防による医療費の削減は大事と思う。医療担当だけでなく福祉、社会体育関係が協力してやらないといけな問題で、議会としても考えていく。(市当局へも文書で伝えました。)  |
| 4   | 南外では店や食堂がなくなり、若い人たちは大型店や勤め帰りの買い物ができるが、高齢者は買い物難民になっている。移動販売車への支援などが考えられないか。   | 5月に商工会や支所、事業者で話し合いを行った。試験的に6月と7月に進藤商店が移動販売車で回り様子を見ることになっている。   |
| 5   | 収入と人口増は大きい関係があると思う。南外は高齢者が多く年金収入が頼りである。自立することは大切であるが、起業するための補助金があるにしても自己資金が問題でなかなかできない。何か高齢者向けの収入源のアイデアはないか。                       | 大豆の大規模化も補助制度や米並みの所得が見込まれる。大曲工業生の評価が高く、このような若い人材を生かし育成しながら、どんな企業を誘致できるか検討していきたい。(市当局へも文書で伝えました。)  |
| 6   | 先日、仙北ふるさと会が地元で開かれたようであるが、その効果はどの様なものであったのか。<br> | 仙北のふるさと会の20周年事業として地元で総会を行った。毎年ふるさと会には地元から40名ぐらいが参加している。相互交流がないとふるさと会は続かないのではないかな。また、仙北には旧池田氏庭園があり、会の集まりにも一役買っていると思う。太田では、2年前に20周年事業として地元で総会を開催している。太田の秋祭りにあわせて東京からバス1台で訪れ、イベントに参加したり、町内めぐりをし、交流を深めている。 |
| 7   | 以前、公債費比率や将来負担比率等の財政数値が大仙市は県内で良くない方であると聞いたことがあるが、今はどうなっているのか。   | 前は財政数値、公債費比率や将来負担が大分悪かったが、公債費適正化計画により、平成24年度決算では、公債費比率は18.4%、将来負担比率は161.3%となっている。他市との比較もあるが、それよりも自分の数値として少しずつでも下げる努力をしないとイケない。議会としてもしっかりと監視する。   |
| 8   | 市の各種審議会等の委員を見ると高齢者が多い様な気がする。若い人をもっと入れるべきと思う。   | 市当局へ文書で伝えました。  |
| 9   | 市政懇談会に未婚、既婚者を集めて、直接意見を聞く機会を設けてはどうか。  | 平成26年中に、若い人が集まる場を利用し、市政懇談会を開催するよう、検討する。  |
| 10  | 市政懇談会に若い人の中には、集落の過疎化について、小集落へのインフラ整備より利便性のあるところへ誘導すべきだとの意見を持っている人もいる。色々な考えを聞くためにも若い人も集まれるような時間の開催を考えてはどうか。                         | 平成26年中に、若い人が集まる場を利用し、市政懇談会を開催するよう、検討する。  |
| 11  | 議会の定数、報酬はどの程度が適正と考えているか。   | 議会基本条例に基づき、検討を加えることとなっている。現在、議会運営委員会で検討することになっている。   |

| No. | いただいたご意見  | 大仙市議会の回答  |
|-----|---|---|
| 12  | JAのあり方について<br>この地域には米の研究会がいくつかあり、それぞれ活動をしているが、JAとしては米の研究や販売戦略が遅れているのではないかと感じる。秋田は生産そのものよりも販売に対する政策、統一されたものがないように感じる。行政として指導や助言、県への働きかけなどの計画は考えているか。 | 秋田は販売の仕方が非常に遅れていると感じている。生産者の意識改革も必要であると感じている。<br>(市当局へも文書で伝えました。)   |
| 13  | 大仙市が農業でいくのであれば、実態を知らなければならぬと思う。他県で生産された『あきたこまち』の新米が、県内の店頭と並ぶが、防ぐことはできないか。   | 商売のことなので、ある程度やむを得ないと思う。   |
| 14  | 年金の減額、消費税増税、ガソリンの高騰などで、生活が苦しくなっている。例えば、年金は毎月入るようにしてはどうか。  | 自治体単独では実施できる問題ではないので、国へ要望活動を行っていく。  |
| 15  | 『大曲の花火』の火薬が屋根に落ちてトタンがサビやすくなっている。  | 市当局へ文書で伝えました。   |
| 16  | 誘致企業対策について、自分はいい話をしているつもりであるが、大仙市からは全く返事がない。大仙市は本気で取り組んでいるのか。   | 市当局へ文書で伝えました。   |
| 17  | 県内の平均寿命が他県に比べ短い。また、健康診断の受診率も低い対策はどのようになっているか。   | 平均寿命の全国一は長野県であり、野菜の消費量が多いという特徴がある。健康診断を受けるよう指導するとともに、食生活の改善等も促していく。<br>(市当局へも文書で伝えました。)   |
| 18  | 園芸メガ団地のような取り組みを、各地域でできないものか。  | 秋田県内は3月から10月までしか作物はできない。11月から2月までは雪のため、作物の加工の時期になる。<br>(市当局へも文書で伝えました。)   |
| 19  | 1) 男性の寿命が短い。何か対策が必要ではないか。<br>2) 認知症の対応について、現在の予算で間に合うか。また、床数が足りないのではないかと。   | 1) 現役退職後の日常生活へ、いかに男性を参加させていくか、また福祉・保健施策で、発言された方のご意見も伺いながら、当局へ提案してまいりたい。<br>2) 認知症のベット数については、地域医療計画の中で定められているベット数もあることから、市内だけでなく県内にある病院でカバーしていかなければならないものと思っている。必要があれば議会でも提案してまいりたい。<br>(市当局へも文書で伝えました。) |
| 20  | 大曲厚生医療センターの職員(看護師)の対応、言葉使いが良くない。市も深く関わっているのに、議会からも働きかけてほしい。   | 市長・議長が出席する病院運営の会議の場で強く発言していく。<br>(市当局へも文書で伝えました。)   |
| 21  | 大曲駅を降りてから観光する場所(案内する場所)がない。旧池田氏庭園等を通年開放していつでも見学できるようにできないか。   | 旧池田氏庭園は現在修復中であり、完成すれば紹介できると思う。  |
| 22  | クリーンセンターの作業員が、マスクを着用しないで作業を行っているが、健康面に問題があるのではないかと。   | クリーンセンターから回答を得たので、本人に伝えます。  |
| 23  | 議員が視察に行ったあと、行きっぱなしでなく、政策に反映させてほしい。  | 先進地視察の報告は書面で行っている。すぐに大仙市に取り入れることができるかといえば、必ずしもそうではないということをご理解いただきたい。  |

| No. | いただいたご意見   | 大仙市議会の回答  |
|-----|--|---|
| 24  | 議員の定年制について、JAなどは役員の定年70歳と聞いているが、議員の定年について考えを伺う。                        | 議会としては決められない。市民がどう考えているか、選挙で伺う。   |
| 25  | 議員定数について、由利本荘市や横手は26名である。どのように考えているか。                                  | 議員定数については、議会運営委員会で検討しているが、市民の声が届かなくなることや、常任委員会が機能しなくなる等のことから、現在の定数が妥当と考える。          |
| 26  | 議員報酬について、高いと思うか、安いと思うか。  | 議員活動等を考えると、もう少し報酬が高くて良いのではないかと。報酬だけでは生活できないので、若い人材が専任して生活ができるような報酬であるべきと考える。        |
| 27  | 任期4年の中で、一般質問をしない議員はいるか。  | 人数は少ないが、いる。   |
| 28  | 人口減少対策として、若年層がどういう職種を求めているか、直接聞く機会を設けてはどうか。(中学生など)                     | 中学生及び高校生を対象にどういう職種を求めているかアンケート調査の実施を市当局へ要請していく。議会としては、調査結果を参考に、どのような政策が必要か検討していきたい。 |
| 29  | 病院は整備されたが、優秀な医師を配属するよう働きかける必要があるのではないかと。                               | 議会としても懸念しているので、今後働きかけていく。(市当局へも文書で伝えました。)   |
| 30  | 中沢に建設予定の花火工場について、是非とも実現してほしい。予定地に沼があるが、緑のコケが発生しているので、環境調査や対策が必要ではないかと。 | 沼の水質について、改良区で年1回調査しており、安全であるという結果がでている。今後、工場建設・稼働になれば、今以上に水質検査を実施することになると考える。       |
| 31  | 消防本部の防災行政無線設備が古くなっている。自主避難を進める上で大切である。新しく構築するべきかと考えるがどうか。              | 次年度完成のコミュニティFMなどを有効に活用していく。   |
| 32  | 空き家が増えているが、その対策は。  | 借り手がいれば貸すこととなるが、借り手がない現状で苦慮している。危険な場合は、行政代執行をし、費用を所有者に請求している。                       |
| 33  | 空き家の解体について、危険な状態のため解体した場合、所有者がいなくときの費用はどうなるか。                          | 条例の整備が必要であるが、そのまま放置しておかれないので、最終的には市で負担することとなるのではないかと。喫緊の課題であるため対策が必要と考える。           |

内  
小  
友  
公  
民  
館  
(  
6  
人  
)

| No. | いただいたご意見  | 大仙市議会の回答  |
|-----|---|---|
| 34  | 未来債の発行は、起債に比べ、金利差を見ても、市(市民)の負担が多くなるのではないかと。また、市の監査は秋田市のように公認会計士によって行われているか。外部監査が必要でないか。                         | 金利は0.1%ぐらい高くなるが、まちづくりは市民全体で意識することが必要ということで協力いただいている。また、監査委員は市のOB等でなく、常勤で行っている。  |
| 35  | 1) 下水道事業の見直しに関連して、合併処理浄化槽に切り替えられていくと聞いているが、下水道の改良は全市的に進められているのか。<br>2) また、合併処理浄化槽を推進していくとなると、排水が流れる側溝の改良が必要と思う。 | 1) 下水道事業については、各地区で持っている計画に基づき、整備されている。しかし、加入率が低いため見直しを行い、現在は合併処理浄化槽を進めている。<br>2) 現地付近は集中豪雨時に側溝から水が溢れ、道路が冠水する箇所であり、当局では、流末の調査をした上で、対策を検討するとしている。 |
| 36  | 1回目、2回目の市政懇談会で出された要望に対して行われた成果の検証は行っているか。   | 検証は、広報やホームページで公表している。   |
| 37  | 防災ハザードマップでは、水害の場合の避難場所が角間川小学校の2階になっている。ここには冠水1m～2mのところを歩いて行かなければならない。また角間川町民全世帯が避難できる広さがあるかなど、避難場所として適正か。       | 現地を確認したところ、築堤が決壊した場合はご意見のとおり災害になると思われる。一時避難場所としては有効と思われるが、築堤の決壊等、災害の状況に応じた避難場所を再度検討するとともに、地域住民にもその旨を十分に周知するよう要望して行く。                            |
| 38  | 雄物川堤外の排水ポンプ配置数は適正か。訓練と作業手順を明確してほしい。   | 現地調査と担当職員の説明によると、雄物川上流で水位が上昇すれば国交省が排水ポンプ車を待機させる委託体制が整っており、1台あたり1分間に60トンの排水能力を有することから、適正な配備がされているものと思われる。  |
| 39  | 大仙市の税金は県内の市と比較して高いか。比較した分かり易い資料を公表してほしい。  | 秋田市に比べれば若干安い。固定資産税や市民税は県内でそんなに変わらない。介護保険税は施設が増えた関係で高くなっている。<br>(市当局へも文書で伝えました。)   |
| 40  | 角間川の空き家件数はどのくらいあるか。また、それに対する対策はどうなっているのか。   | 65件の空き家があり、そのうちの60件は所有者や親せきで対応している。残りの5件については、市総合防災課を中心に対応しているが、今後議会としても注視していく。   |
| 41  | 小学校の統廃合の展望について聞かせてほしい。  | 統合計画に基づき進められている。現在は統合の予定はないが、地域の人たちの意見を尊重しながら進めていく。   |
| 42  | 3. 11の震災後、災害発生時の市の広報のあり方について検討されたか。給水場所についても検討したか、知らせてほしい。  | 広報車巡回の周知徹底の確認と給水場所の改善について関係機関に要望していく。あわせて地域の防災訓練などを行い、いざという時に備えられる体制整備を進めていく。<br>(市当局へも文書で伝えました。)   |
| 43  | 農協の後ろの通りの側溝を整備してほしい。  | 現地付近は集中豪雨時に側溝から水が溢れ、道路が冠水する箇所であり、当局では、流末の調査をした上で、対策を検討するとしている。  |
| 44  | 冬のスポーツ施設の整備を要望する。スケート場などを整備し、まちの活性化を図ってほしい。   | 市当局へ文書で伝えました。   |
| 45  | 角間川地区に久しぶりに農業後継者が誕生した。この後も支援を願いたい。  | 市では、東部と西部に新規就農者研修施設がある。これは市独自の施策で、議会としても、後継者育成について、今後も継続していくよう要望していく。<br>(市当局へも文書で伝えました。)   |
| 46  | 新規の企業に支援はあるか。また、町内会等における横の繋がりが薄い気がする。意見を聞くなどの連携をお願いしたい。   | 体制づくりについて、地元議員を中心に検討し、進めていただきたい。また、地域予算を積極的に活用してほしい。  |

角間川公民館  
(15人)

| No. | いただいたご意見  | 大仙市議会の回答   |
|-----|---|--|
| 47  | 福島、宮田地区の基盤整備事業(約60ha)は採択が5年先と言われている。一刻も早く整備されるよう要望する。                 | 1年でも早く実施できるように鋭意努力する。(市当局へも文書で伝えました。)                                    |
| 48  | 県の政策に対応できるような基盤整備計画をされるよう議会から要請していただきたい。                              | 市当局へ文書で伝えました。  |
| 49  | 雇用の拡大が大事と思う。神岡笹倉地区の工業団地はどうなっているのか。                                    | 市でも議会でも何とかしたいが具体案が無い。自然エネルギー等の発想もあったが、秋田県でも模索している状況である。市と一体となって頑張っていきたい。 |
| 50  | 基盤整備事業から外れた地区の土側溝をベンチフリュームで整備していただきたい。組合員も負担するので、市の方から県に強力をお願いいただきたい。 | 受益者にできるだけ負担のかからない制度を活用いただくことになる。今後、活用できる制度の周知に努めていただくよう市当局へ要請していく。       |
| 51  | 宇留井谷地地区の築堤が完成できるよう今年も陳情活動をしたいと考えているので市議会議長からも同席いただきたい。                | 7月に市長と一緒に陳情活動を行う。地域の陳情活動で要望があれば参加したい。                                    |
| 52  | 水害防止のために雄物川の中州を浚渫できないか。砂利は建設資材としても使用できると思う。                           | 雄物川の中州の浚渫は行わず、砂利の採取も許可しないのというのが国の方針であるため、今後の推移を見守る。                      |
| 53  | 市議会議員の構成は30代、40代の若い人がいない。子育て施策に頑張ってもらいたい。女性の主婦も必要と思うが。                | 若い人はあまり政治に関心がないのではないか。若い人向けの政策を議会で進めていきたい。                               |

| No. | いただいたご意見  | 大仙市議会の回答  |
|-----|---|---|
| 54  | 消防団員の定年延長は高齢者が多くなり、現場での活動に無理が出てくるように思うが、そうした点も踏まえて定年延長を議決したのか。また、このあともっと年齢の延長もあるのか。                                       | 審査の過程では、そのような意見も有った。ただ全員が定年延長になるのではなく、希望者についてとのことだった。また、現下の団員の定員割れを考えると、その対応策の一つになると考え賛成した。更なる定年年齢の延長はおのずと限界があると思う。   |
| 55  | 消防団員の定員割れや高齢化を考え、少人数でも活動できるよう、全部の班に積載車を配置すべきと思う。  | 市では消防団の再編に向けて検討中であるが、消防団の全班に小型ポンプ積載車を配備することにより機動力が上がり、かつ定員も守られるものと思われるので、市に要望して行く。  |
| 56  | 町部を流れる水路は、消雪用として使っているが、ふたが無く、危険である。また、冬場の水量確保には水路の整備が欠かせないが、町内会は高齢世帯が大部分であり年々作業が大変になっている。何か対策はないか。                        | 水路にふたをした場合の除雪作業等への影響について、要望住民の方々と市当局で十分に精査し、その上で市の実施計画に盛り込まれるよう検討していただきたい。  |
| 57  | 要望している道路がなかなかできない。《浮島バス停から》恒久的な補修をして欲しい。要望事項の途中経過の報告が欲しい。   | 住民の意向に沿って、出来るだけ早期に補修できるよう、検討してまいります。  |
| 58  | 未舗装道路の春の路面対策など、各地に要望事業がある。1～2年で完成するようにしてほしいし、途中の状況報告がほしい。   | 財政上、除雪路線で緊急度が高い道路から優先的に舗装していく方向に、ご理解いただきたい。   |
| 59  | 旧町村の道路整備に力を入れてほしい。圃場整備事業で幹線道路用地として創設した用地がいまだに整備されないため、管理が大変になっている。いつまで地域で管理すればよいのか。整備の方向付けをしてほしい。                         | 農地・水事業を活用している事例もある。現地も分かるので、持ち帰って検討させていただきたい。<br>(市当局へも文書で伝えました。)   |
| 60  | 税の申告会場について、休日に行ったところ、待合室に暖房がなく大変寒い思いをした。対策を検討してほしい。   | 市当局へ文書で伝えました。   |
| 61  | 自主防災組織を行政の指導により作ったが、どのような活動をすればよいのかが良くわからない。指導を強化してほしい。   | 自主防災組織は作るのが目的ではない。どのような活動をするのかがなければ意味が無い。作る指導だけでなく、事後の活動の相談に乗るのが行政の役目と思う。担当部局に事後指導をするよう要望する。<br>(市当局へも文書で伝えました。)  |
| 62  | 地域のあるべき姿をみんなで作るべきと思う。地域の発展計画を創るべきと思う。   | 地域の発展計画を創ることは大事なことである。今市では、新たな総合計画を作る作業に入っている。いろいろな場面で、意見や提案できると思うので是非参加してほしい。<br>(市当局へも文書で伝えました。)  |
| 63  | 農協によるメガ団地事業が進んでいるが、地域活性化のために上手くいってほしい。そのためには実際に運営する会社《法人》の経営指導を市としてもしっかりやってほしい。   | 市も補助金を出しているので経営指導もすると思うし、議会も決算審査では当然審査対象になる。<br>(市当局へも文書で伝えました。)  |
| 64  | 西部は学校統合が行なわれたが、東部地区についてはどうなっているのか。<br> | 教育委員会としては、学校適正化計画により行っているが、上から目線ではやらない。あくまでも地域の要望が大事と考えている。<br>・中仙の実状⇒7月19日にPTAと議員が話し合いをもつことにしている。<br>・太田の実状⇒過去に太田南小学校と太田北小学校の統合の話があったが、PTAや地域で何回か話し合いがもたれた結果、統合するとまでは行かなかった。その後は特に動きは無い。 |
| 65  | 八乙女野球場スタンドのサビとカビがすごい。市外からの来場者も驚いている。速急に補修してほしい。   | 支所と良く協議をして、教育委員会に要望してほしい。<br>(市当局へも文書で伝えました。)   |
| 66  | 大仙市の振興計画の見直し時期はいつか。   | 27年度が最終年度で、28年度から見直された計画になる。今年度から準備作業に入っている。地域版の計画を作成し、市へ要望していつかはどうか。   |
| 67  | 座間市を訪問したとき、議会を開会中で無いのに議員が大勢集まり、会派毎に研修をしていた。大仙市では会派の研修はどうなっているのか、今回の報告の中に休会中の議員活動報告も入れて欲しい。議員にはしっかり勉強して欲しい。                | 会派研修については、それぞれテーマを決めて研修している。先進地研修報告も各議員からの報告書を議会報に掲載し、情報公開している。又、行政調査を元に一般質問や予算要望として政策提案している。今後もこのような方向で計画していきたい。   |
| 68  | 通学路のライン引きについて、2年前からお願いしているが、まだ検討中か。   | グリーンベルトという方法もある。いろいろ工夫し、早期に実施できるように検討していきたい。<br>(市当局へも文書で伝えました。)  |
| 69  | 坂の上橋を車が通るたびに、すごい音がする。直してほしい。  | 市当局へ文書で伝えました。   |

中仙地域  
(18人)

| No. | いただいたご意見   | 大仙市議会の回答  |
|-----|--|---|
| 70  | 最近の気象の変化に対応する米の品種改良は怎么样了のか。  | 農業試験場では品種改良を進めていると聞いている。まだ供給の段階までは至っていないと思う。種蒔きから出穂の対策をすることで少しでも防げるものと思われる。   |
| 71  | 三角の不思議な草が2～3年前から増えているが、市で調査しているのか。生態系が崩れる気がするが、対応できないのか。                             | 実際に見てみないとわからない。セイタカアワダチソウかも。  |
| 72  | 除雪について、市に連絡しても対応が遅い。ロータリー車を増やして対応すべきではないか。   | 状況に応じた対応をし、また住民の要望にはきめ細かく答えていく体制の構築を、市当局に要請していく。  |
| 73  | 中国からのPM2.5について、どういう対策を考えているのか。   | 市で何ができるか明言はできないが、国、県の対応を今後も注視し、必要があれば市でも対策を考えていきたい。まずは国、県の動きを注視していくべきと思う。(市当局へも文書で伝えました。)                                 |
| 74  | 医療・介護総合法案に関して事務が市に移管されることになるがどう考えているのか。  | 平成29年4月から着実に新制度を開始するように、また、利用者への周知徹底についても、当局に働きかけていく。   |
| 75  | 旧双葉小跡地の活用(アーカイブス)について、公文書館を作ることになっているようであるが、現在どのような構想になっているのか。アクセスとしてバス運行の予定などはあるのか。 | 現在の文書等は中仙支所の2階などに保管されているが、とても入りきらない状態。今後、一括して管理する構想。アクセス道路の整備は要望している。バスの運行については厳しいと思う。                                    |
| 76  | 畑などの耕作放棄地について、市のネットワークで市民に提供するというようなことは考えていないのか。                                     | 耕作放棄地は畑に限らず、水田も沢山ある。農業委員会の方にも相談してみようか。(市当局へも文書で伝えました。)  |
| 77  | ①アメリロ対策は市でやっていたものが、自治会に移管された。自治会では朝8時から17時までの重労働である。どのように考えているのか。<br>②お金は市から出るのか。    | 噴霧機の貸し出しと薬剤の無償提供を行っていることに加え、環境整備の観点から、散布に要する労力の提供は、今後とも地元の方々をお願いしたい。作業の実施については、重労働にならない工夫を自治会内でも検討いただき、無理のない作業の実施をお願いしたい。 |
| 78  | 国民文化祭について、市ではどのような計画で予算はどれほど持っているのか。   | 県とテレビ局での事業となり、市での具体的な予算は今のところ無い。市長は何かあった場合には全面的に協力したいと言っている。  |
| 79  | 刈和野の綱引きは重要文化財になっており、維持管理にも経費がかかっている。市からの予算は何か無いのか。                                   | 平成17年の市町村合併時から毎年、補助をしている。   |
| 80  | ①空き家対策について、解体したあと更地にした場合に固定資産税が高くなるとの話を聞くが本当か。<br>②空き家対策を進める上で税金が高くなるようできないのか。       | 空き家対策は全国的な問題であり、国でも空き家対策特別措置法が提案される動きも見られることから、同法が制定されてから対応できるよう進めていきたい。  |
| 81  | 大仙市の公債費について、今後の見通しはどうか。  | 現在の実質公債費比率は18.4%、来年度は18%をきると想定される。財政の健全化に向かって少しずつ動いている。   |
| 82  | 大曲厚生医療センターができ、良い傾向と思うが、大曲中心部だけが栄えるだけで無く、各支所の実施計画は大仙市の予算に反映しているのか。                    | 実施計画は緊急性などを考慮しながら基本的にローリング方式で行っている。地域の議員でも見直しの確認をしている。地域の皆さんからも要望があったらお願いしたい。   |
| 83  | 企業誘致活動を行う際に管内の企業関係者(商工会や農協)を同行させたらどうか。   | 企業誘致については今後もしっかり取り組んでいきたい。(市当局へも文書で伝えました。)  |
| 84  | 道路陥没箇所補修について、毎年お願いし続けているが、予算が無いと返答される。予算がついたのか、いつから着工されるのか伺いたい。                      | 当局では、国に申請中の国庫補助が採択され次第、27・28・29年度の3年間で補修をするとしている。   |
| 85  | 花壇の経費について町内会で購入し花を植えたが、大仙市にも自治会整備費用交付金?というのもあるので、要望したならば交付願いたい。                      | 西仙北地域の地域予算を使う等、検討してみようか。  |
| 86  | 納税組合連合会が解散され、町内に移管されたが、まだあいまいで納税組合の還付金がないが、どうなっているのか。                                | 納税組合が解散される時点で自治会支援金が嵩上げされている。納税組合は解散になって廃止されているので、ご理解願いたい。  |
| 87  | 農業問題について、中山間地域は、耕作放棄地がかなりあるが今後どのように対応していくのか。   | 稲プラス何かを考えていただき、農地をフルに活用できるようにしていただきたい。ほ場整備を集落や地域の皆でできるよう進めてもらいたい。   |
| 88  | 人口減少に対して議員定数の見直しを考えているのか。  | 人口が減ったから議員定数を減らすといった単純な問題では無い。地域の声を反映できる定数の確保が必要。今後の状況を踏まえて検討していきたい。  |

西  
仙  
北  
地  
域  
(  
4  
4  
人  
)



| No. | いただいたご意見  | 大仙市議会の回答  |
|-----|---|---|
| 89  | 1) 国道13号の4車線化を急いでほしい。和田から先はどのような計画になっているのか。<br>2) あま池の整備について、今年予算で淀川簡易水道水源施設を新設するようだが、市単独か県と共同で行うのか。  | 1) 国道13号の整備は、地元議員が市議会に要望している。<br>2) 昨年度ボーリング調査を行って水源地を確保している。今年からの計画を組み、県の補助事業を要望しながら進めてまいりたい。  |
| 90  | 1) 人口減少の中、少数集落の維持はどうするのか。<br>2) 農業の維持について施策はないか。<br>3) 各駅周辺環境整備が必要と思うがどうか。<br>4) 20年後を見据えた総合的な施策、新しい取り組みが必要になってくると思われる。                         | いずれについても、市として長期計画の中で協議されていることから、議会としても機会あるごとに検討し、対処していきたい。                                      |
| 91  | 協和やすらぎの里の予算内容を教えてほしい。   | デイサービス事業のソフトの部分で利用者負担が1割、残りが国の補助金である。   |
| 92  | 特別養護施設の待機者はいるのか。  | 待機者はいる。介護度の高い順の入所となるため、介護度の低い人は後回しになることもある。   |
| 93  | 船岡地区の県道縁石の雑草の草刈りをしてほしい。自治会では負担が大きい。   | 県の方に連絡して、現地を見ながら草刈りしていただくようお願いする。   |
| 94  | 大仙の農業について、今後維持できるか。   | 議会としては、大仙市の基幹産業として維持していかなければならないのは当然と考えており、JA等の関係機関と歩調をあわせ、最善の努力をしていきたい。                        |
| 95  | 市役所本庁舎の建設について、旧大曲市の環境整備だけが進んで、周辺地域は整備が遅れている。活性化につながる庁舎建設を考えたかどうか。また、市内のどこからでも30分以内に庁舎に行けるようにすれば色々な機能が高まると思われる。                                  | 耐震工事をしたばかりなので近々には庁舎建設はないと思われる。  |
| 96  | 小中学校の給食において、米飯を勧める条例を作ったかどうか。   | 【現状】市内全ての小・中学校において、週5日のうち4日は米飯給食。1日は隔週で麺類、米粉パン。十分地元産米が提供されており、また、児童・生徒の豊かな食育の観点からも現状のままで見守る。    |
| 97  | 職場のないことで人口流出につながっている。新規起業者に空いている市の施設を無料で貸与できないか。  | 現在も空き校舎等の貸与を行っており、賃貸料については、固定資産税相当分の必要最低限の額となっている。公益性を考えると雇用の拡大が図られることから、現行どおり進めていくのが最善の方法と考える。 |
| 98  | 企業誘致について、県が消極的なので市独自に活動したらどうか。農業が職業に成り得ないことは残念である。市内のどこに行っても、大仙市産のおいしいご飯が食べられるようになったらいいと思うし、それが小さい農家が残る1つの方法になるのではないかと思う。                       | 企業誘致については、今後も引き続き努力していくことに加え、6次産業化を推進するなどして、農業が生き残れる方策を検討していきたい。                                |
| 99  | 県立大学や国際教養大学と連携するなど、若い世代を地域に受け入れる施策を講じたらどうか。大仙市は何もないが、放射線の心配もなく、自然がいっぱいである。こういうものを生かしてはいけよではないか。   | 産学官連携は行っているが、今以上の促進を図りたい。   |
| 100 | 婦人会で議会傍聴をさせていただいたが、議員の皆さんの声が聞けなかった。今日は、議員の皆さんの声が聞けてよかった。少子高齢化とあちこちで言われているが、高齢者にとって聞き難い言葉で、何か悪いことをしているような気持ちになる。地域の思いやりが必要だし、地域のよいところを大切にしていきたい。 | ご意見として、お伺いいたしました。   |

協和地域（31人）





| No. | いただいたご意見  | 大仙市議会の回答  |
|-----|---|---|
| 101 | 人口減少、深刻な問題。議会では具体的な対策はあるか。プロジェクトチームを作って議論してほしい。               | 議会としても深刻な問題と捉えており、一般質問を通じて市当局と議論している。議会としてのプロジェクトチーム設置についても、前向きに検討していきたい。 |
| 102 | 奨学金を貸している子ども達が県外に就職するなど矛盾を感じるので、ふるさと納税をしていただくなど、縛りを設けてはどうか。   | 地元に戻って、就職をすると、奨学金の免除がある。ふるさと納税は、協力していただくということだと思う。                        |
| 103 | 空き家が増えているが、市の予算で改修して、何年かそこに住めば、譲渡するという仕組みを、大仙市でも行わないか。        | 空き家対策は全国的な問題であり、国でも空き家対策特別措置法が提案される動きも見られることから、同法が制定されてから対応できるよう進めていきたい。  |
| 104 | 人口減に歯止めを掛けるのは、子どもを増やすことだ。結婚をサポートするような、プロジェクトチームがあってもいいのではないか。 | 県でも市でも、出会いの場を設けているが、予算が少ない。もっと増やすよう要望した。積極的に出会いの場へ出席してもらおうよう雰囲気作りをしていく。   |
| 105 | 小さい子ども達を守らなければならない、一人で歩いていると、非常に危険、どう守っていくか考えてほしい。            | 市当局へ文書で伝えました。   |
| 106 | 再生可能エネルギー、各学校でやっているが、メガソーラーの企業誘致をしてはどうか。                      | 市では具体的なものはないが、メガソーラーについて県内では増えつつあるので、議会内で検討したい。                           |
| 107 | 結婚する人が少ない、弔慰金はもらえるが、結婚祝い金というのを作っていたらどうか。                      | 婚姻率の増加、その後の出生率の増加などにつながることから、実現に向けて、市当局へ要望していきたい。                         |
| 108 | 学校統合では、住民が声を出せるような懇談会を設置してほしい。                                | 地域住民の理解や話し合いがなければ、進まない。住民の意向が100%。  |
| 109 | 学校統合の際は、安全、安心な熱エネルギー、メガソーラーを国や県と検討され、活用していただきたい。              | メガソーラー団地については、これから普及してくると思う。  |
| 110 | 空き家を、ふるさとへ帰ってきた人の滞在場所にできないか。                                  | 都会の人が、自由に使える場所があればいい。面白いと感じた。(市当局へも文書で伝えました。)                             |
| 111 | 米の反収を地域にあったものにしてほしい。大規模化が進めば、農家そのものはどうするか。                    | 共済組合へ、基準反収を変えていただくよう話していただきたい。集落を維持していくようなスタイルを作って、共同していくのが基本と考える。        |
| 112 | 川口溪谷、車で行けない、どうするか。  | 地域の議員間で協議し、市へ要望していく。  |
| 113 | 移動販売車が減っている。年間いくらでもいいから、補助していただけないか。                          | 南外でも話があり、今業者へお願いしてやっている。今後、何か解決策が出てくると思う。(市当局へも文書で伝えました。)                 |
| 114 | 空き家になることが、最初から分かっているのであれば、それにすぐ対応できる体制を考えていいのではないか。           | 空き家は、活用できる時点で動かないといけないと思う。活用に配慮することを考えてみたい。                               |
| 115 | 若い人が、議会に興味をもってもらおう工夫はできないか。                                   | 議会中継について、今、検討している。  |
| 116 | 地域スポーツクラブの助成金が少なくなった。財政面で厳しくなったので、支援をお願いしたい。                  | 教育長へ伝えて、いづらかでも実現したい。(市当局へも文書で伝えました。)                                      |

太田地域  
(43人)

| No. | いただいたご意見   | 大仙市議会の回答  |
|-----|--|---|
| 117 | <p>出産祝金や高校入学祝金等の制度をつくってもらえないか。</p>  | <p>【出産祝金】一時的な給付では効果は薄く、出産を機に一定期間の継続的支援給付が実効的と考える。現在、市では、出産時だけでなく、子どもの健やかな成長を継続的に支援するため、様々な切り口で支援を行っている。(例: 中学校卒業までの医療費負担分の支援、保育料等の支援、子どもの病気回復期間の一時預かり等)</p> <p>【高校入学祝金】現在、大仙市の高校進学率は99.7%である。高校2,3年生の授業料無償化も実施されていること、また、高校入学祝い金となると、合格者に限定されることから、好ましくないものとする。</p> |
| 118 | <p>美郷町の人口減少問題プロジェクトチームこそ、本当の行政のあり方。一方、大仙市は地元酒乾杯条例を可決とある、これだけ差があるのかと、地元酒に対して、援助するのか。酒造組合から何かあったのか。</p>                | <p>議会でも、美郷町のようないち早い対応を見習い、組織を作って向かっていかなければならないことを感じた。酒造会社や、農協から要請されてやったわけではない。</p>  |
| 119 | <p>市として、若い人たちから意見を聞いたりするような催しを計画してやっているものか。</p>  | <p>出会いの場は、市でもまち婚とかをやっているが、もっと工夫した形を、提案していきたい。</p>   |
| 120 | <p>地域の農業は地域で、集落で楽しく過ごすこととしている。子どもが参加する行事をすれば、大人も出る。地域のコミュニティを図ることが大事である。</p>   | <p>いろいろ事業をしようだが、議員にも声をかけて頂ければ参加したい。農地・水の事業を使えるので、是非活用していただきたい。</p>  |
| 121 | <p>地域の話を通した中で、実際の地域の人はどう思っているのか、地域の中で解決していく時代に入った。従来とは違った意思疎通を図る、もっともつながりをもてるものになっていかなければならないとの話があった。</p>            | <p>地域力の低下、自治会の機能が落ち込んできている。地域コミュニティの再生として、自治防災組織が立ち上がっている。地域の高齢者等を守っていく、大きな力になっていると思う。</p>  |
| 122 | <p>市政懇談会に若い人は誰もきていない。開催時期、時間、検討の余地は無いのか。職場訪問してもいいのではないか。</p>   | <p>平成26年中に、若い人が集まる場を利用し、市政懇談会を開催するよう、検討する。</p>  |
| 123 | <p>福田の道路、子どもと歩いていたが、トレーラーが横転しそうで、本当に危なかった。</p>   | <p>地域の議員間で協議し、市へ要望していく。</p>   |
| 124 | <p>集落排水が詰まって、マンホールがパンクした。下水道料金も上がっているの、原因を究明して、こういうことがないようにしてほしい。</p>  | <p>調査し、対応している。</p>  |
| 125 | <p>仙北地域独自のものが、なにかありましたら教えてください。</p>  | <p>国民文化祭が行われる。放課後児童クラブ、通学路、ガードレールもやる。水道新設・支所の耐震工事も実施する。</p>   |